

熊本震災支援

庭先避難のための「ちいさいうち（板倉小屋）」プロジェクト企画案

知足美加子（九州大学芸術工学研究院）

熊本震災で被災された方々に、心からお見舞い申し上げます。度重なる余震の中、やむなく避難所やテント生活、車中泊をお続けの方も少なからずいらっしゃいます。このような状況をうけて、**自宅敷地内に避難のための小屋を建設するプロジェクト**を企画いたしました。**自宅の敷地内に六畳程度の木造家屋を建て、そこに避難するという方法**を提案いたします。

余震が怖くて自宅で寝ることが不安な方も、庭先の自分の居場所で睡眠をとることができれば、心身が休まります。復興に向けて歩き出すことができます。また庭先避難は、倒壊家屋備品の盗難防止にもなるでしょう。

東日本大震災の仮設住宅建設で活躍された安藤邦廣先生（筑波大学名誉教授）のご指導のもと、九州大学芸術工学院・田上健一教授の協力を仰ぎながら、熊本震災支援・庭先避難のための「ちいさいうち（板倉小屋）」プロジェクトを行いたいと考えています。板倉とは日本古来の神社や穀物倉庫に用いられた木造建築技術です。板倉構法は杉の厚板で屋根、壁、床を構成し、木の香りに包まれた健康的な空間を創り出します。この構造は地震の揺れにも強いと言われています。設備にもよりますが、費用が約150～300万程度に収まることも魅力のひとつです。安藤先生は、既に南阿蘇地区の古民家の補修方法に関する指導にあたられています（6/2～）。

安藤先生が提案されている避難用家屋は、バージニア・リー・リートの絵本『ちいさいうち』に登場する家に似ています。熊本震災後、漠然とした建物への不安を感じている子供が多いとききます。できれば「秘密基地」のような感覚で子供たちやボランティアの方々も一緒に板倉小屋づくりをし、安心できる「自分の家」を造り出してもらいたいと願っています。まずは阿蘇地区で庭先避難小屋を建築されたい方を募ることから始めます。ご協力の程、よろしく願いいたします。

知足（ともたり）美加子（彫刻家）



バージニア・リー・バートン

『ちいさいうち』岩波書店 1965年



安藤邦廣先生による阿蘇郡南阿蘇村野中元邸の補修指導



NPO しんりん「板倉マイスター講習」

講師：安藤邦廣 <http://shinrin.org/itakurameister/>